今月の焦点

海外経済金融

米国の財政赤字は4年連続1兆ドル超へ

～秋頃に債務上限を引き上げる必要も～

木村　俊文

大統領選を強く意識した予算教書

オバマ大統領は2月13日、2013年度(12年10月～13年9月)の予算教書を議会に提出した。予算教書は、歳入や歳出の見積もりなど予算編成方針を議会に示すものであり、年頭に1年間の施政方針を表明する「一般教書」、経済情勢判断を示す「大統領経済報告」と併せて米国3大教書と呼ばれている。

今回の予算教書には、次のような特徴がある。第一は、歳入面で富裕層に的を絞った増税を提案していることである。オバマ大統領は13年度以降10年間で約3.2兆ドルの財政赤字削減策を織り込んでいるが、この中にはテロ対策等の海外活動費の削減やメディケア等の医療関連費削減のほかに、バフェットルール（年収100万ドル以上の富裕層への課税強化策）導入等の高所得者に対する減税措置の廃止(約1.4兆ドル)が含まれている。

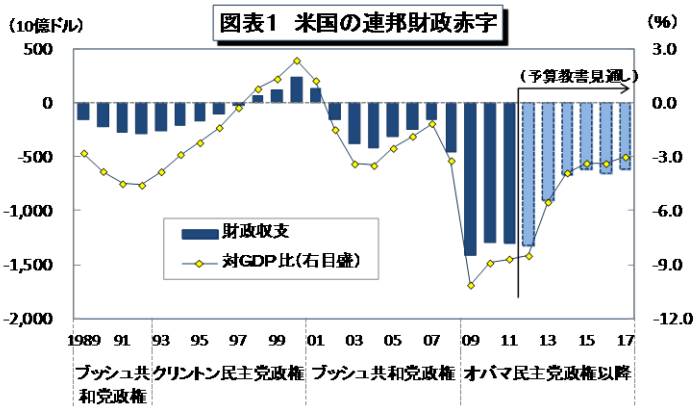
第二は、歳出面で短期・長期のバランスを考慮した政策提言を行っていることである。短期的には、昨年9月にオバマ大統領が発表した「米雇用創出法案」の内容が中心となっているが、新たな景気・雇用対策としては住宅ローン借り換え促進策や退役軍人の就職支援なども提示されている。一方、長期的には技術発展に向けた教育政策のほか、新エネルギー政策やインフラ整備への投資などが提示されており、内容的には前年度の予算教書とほぼ同様である。

第三は、11月の大統領選を控え、全体を通じて野党共和党との対決姿勢を鮮明にしていることである。富の再分配を好まず「小さな政府」を志向する共和党は、財政赤字削減では年金・医療等の歳出削減を図るべきとして、増税には反対している。これに対して民主党は、財政赤字削減には歳出カットだけでは無理があり、財源確保のために富裕層に対して増税するべきとしている。この点は大統領選における重要な争点となっている。

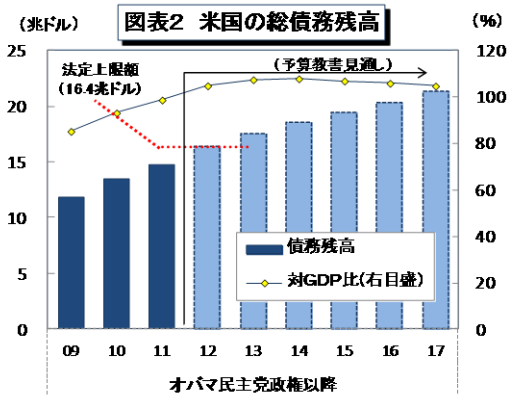
13年度以降は赤字改善の見通し

予算の大枠を見ると、12年度の歳入は2兆4,690億ドルであるのに対し、歳出は3兆7,960億ドルであり、この結果、財政赤字は1兆3,270億ドル(対GDP比8.5%)と4年連続で1兆ドルを突破する見通しである（図表１）。しかし、13年度は歳入が前年比17.5%の2兆9,020億ドルと大幅に増加するのに対して、歳出は同0.2%の3兆8,030億ドルと微増にとどまることから、財政赤字は同▲32.1%の9,010億ドル（対GDP比5.5%）になる見通しとなっている。こうした財政赤字改善の主因は、①経済回復に伴う税収増（個人所得税および法人税)、②富裕層に対する増税措置、③社会保障税減税の失効による大幅な歳入増（前年比17.5%の4,330億ドル）を見込んでいるためである。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載･複製を禁じます



(資料)米財務省「財務省年鑑」、行政管理予算局「2013年度予算教書」



(資料)図表1に同じ

また、長期見通しでも、 前述の 10 年間で約 3.2 兆ドルの財政赤字削減策を提案していることから、その後も財政赤字が改善する見通しとなっている。ちなみに、この赤字削減額は昨年 8 月に債務上限引き上げ法案（11 年予算管理法）を可決した際に設定した「今後 10 年間で最大 2.5 兆ドル」を上回る水準である。

債務残高は秋頃にも上限到達へ

連邦政府の債務残高に注目すると、12 年度末（12 年 9 月末）に 16 兆 3,510 億ドル（対 GDP 比 104.8%）が見込まれており、昨年 8 月に 2.1 兆ドル引き上げた法定上限の 16 兆 3,940 億ドルに迫る見通しである（図表２）。したがって、今年も年度が切り替わる秋頃に債務上限を引き上げる必要が出てくる。

昨年はこの債務上限の引き上げをめぐって米議会が紛糾した。債務残高は昨年 5 月時点で当時の法定上限（14.3 兆ドル）に達したため、米財務省は上限引き上げ法案が成立するまでの間、外為市場介入資金や公務員退職年金基金を流用するなどして当座の資金を確保した。しかし、共和党が中長期的な財政赤字削減策を合意の条件としたほか、増税に強く反対する同党内保守派の「ティーパーティー（茶会派）」の存在もあり、交渉が長期化した。このため、一時は法案成立が危ぶまれ、デフォルト（債務不履行）懸念が強まり、景況感が急悪化した。結局、法案は野党案を受け入れる形で期限までに成立したものの、与野党の政治的な行動を理由に米国債が格下げされ、金融市場に混乱が広がった。

しかし、今年は 13 年度からの強制的な歳出カット（10 年間で 1.2 兆ドル）が発動されることを織り込んでいるため、問題となることはないだろう。

選挙後の政治体制に注目

米国では今年、大統領選と同時に上下両院でも選挙が行われる。上院（任期 6 年）は 100 議席のうち約 3 分の 1 が改選され、下院（任期 2 年）は 435 議席すべてが改選される。このうち下院は、前回（10 年 11 月）の中間選挙で共和党が過半を占めたことにより与野党が逆転し、それ以降、政治的なねじれ状態となった。

こうした状況下での議会審議は難しく、米財政赤字問題が本格的に議論されるのは、大統領選後に政治体制が固まってからとなるだろう。（12.3.21 現在）

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます